

防災マップワーキング凡例

(2) まち歩き結果の記入(風水害・土砂災害)(20分)

① 主要施設(道路、河川等、ため池)の現況を地図上で確認する。

ア)	河川、水路【青実線】	—
	水門【青○印】	○
	ため池【青塗】	■
	井堰・橋【紫○印】	○
	主な道路(県道、市道、林道)【黄実線】	—
イ)	市民センターや公民館、交番、消防署、防災倉庫、消防器具庫等【橙色●印】	●

② 浸水や土砂災害など地域の危険箇所、要注意箇所、まち歩きで得た情報をチェックする。

ア)	ハザードマップ浸水想定区域・水深50cm未満の区域【水色塗】	■	
	ハザードマップ浸水想定区域・水深50cm以上の区域【青色塗】	■	
イ)	河川・水路等、水の流れる方向を記入【青・太矢印】	→	
ウ)	強い雨で冠水する場所、河川堤防が崩れるおそれのある場所【青×印、黄色ポストイット】	×	ポストイット記入
エ)	がけ崩れや土石流などの土砂災害危険区域【ピンクで囲む】	■	
オ)	過去の災害実績(がけ崩れ、土石流)、倒木の発生状況など【ピンク×印、黄色のポストイット】	×	ポストイット記入

(3) まち歩き結果の記入(地震災害)(20分)

① 地震で発生する恐れのある災害事象を記入

ア)	木造住宅の密集地等火災の危険性が考えられる区域【赤色塗】	■	
イ)	地震で崩壊・落下する等の危険性が考えられる(ブロック塀など)箇所【赤色×印】	×	
ウ)	消防車の入れない道路、地震時に倒壊家屋などで通れなくなりそうな狭い道路など【紫塗】	■	
エ)	地域周辺の危険物(ガソリンスタンド、薬品工場など)取扱い業者など注意すべき場所【橙色ポストイット】	■	ポストイット記入

② 地震時に役に立つものや場所を記入

ア)	市民センターや公民館、交番、消防署、防災倉庫、消防器具庫等【橙色●印】	●	
イ)	消火栓、防火水槽、水路、井戸、通信設備(アマチュア無線局やタクシー無線)など【緑色ポストイット】	■	ポストイット記入
ウ)	消防団員、医者、看護師、救急救命士、重機運転や無線通信ができる人など【緑色ポストイット】	■	ポストイット記入

(4) 災害が起こった時の行動を話し合う(災害種別ごと)(30分)

(2)(3)で地図に落とした危険箇所から災害時の状況を想定し、取るべき行動を考える。

①	指定避難所、一時避難所、その他避難場所として利用できそうな公園、神社、お寺など安全な場所【敷地緑色塗】	■	
②	避難場所への安全な避難経路【赤破線】	---	
③	日中、夜間、それぞれの状況を想定し、避難経路上の危険性、問題点【赤色ポストイット】	■	ポストイット記入
④	避難のタイミング(市からの避難情報、雨量、河川水位などの判断基準)【赤色ポストイット】	■	ポストイット記入
⑤	避難所へ行けなかった場合に、自宅の2階や屋根の上、近所の家、近くの高台など、自分の身を守る方法【赤色ポストイット】	■	ポストイット記入